

いじめ予防やいじめ発見のための取り組み

教育委員会では、2008年度から、小中一貫町田っ子カリキュラムの柱の一つとして規範教育を推進してきました。毎年5月に全小・中学校でいじめの未然防止のために町田市独自の授業を行っています。また、各小・中学校においても様々な取り組みにより、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めています。今後、小中一貫町田っ子カリキュラムを改訂し、より充実した取り組みにしていくとともに、「いじめ対応サポートチーム」の設置や「いじめ調査」の毎月実施、いじめ対応マニュアルの作成などの対策を進めていきます。



◎ 専門家による「いじめ対応サポートチーム」の設置

いじめの未然防止・早期解決に向け、9月に「いじめ対応サポートチーム」を教育委員会内に設置します。メンバーは、指導主事・スクールソーシャルワーカー・校長経験者・臨床心理士で構成されます。いじめ問題に学校と共に取り組み、児童・生徒、保護者への支援を行います。

◎ 「いじめ調査」の毎月実施

今まで学期に1回実施していた調査を、毎月実施することで、児童・生徒の心の状況・変化をより詳細に把握します。調査内容はいじめの実態把握を始め、いじめにつながる可能性のある「からかい・いやがらせ」等の状況も把握し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決を図ります。

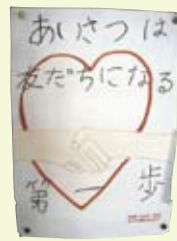
◎ いじめ対応マニュアルの作成と配布

町田市独自のマニュアルを作成し9月に全教員に配布します。内容には、いじめを発見してからの初期対応の流れ・いじめ発見のためのチェックポイント等を盛り込み、「いじめのない」「いじめを許さない」学校づくりを推進します。



あいさつ運動の取り組み

町田第一小学校では、全校であいさつ運動に取り組んでいます。1年生から6年生までが、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」など、積極的にあいさつを交わします。また、あいさつ運動の標語を児童がつくり、校内に掲示します。



この標語ポスターには「あいさつは友だちになる第一歩」とあります。

子ども同士だけでなく、子どもと教職員が積極的にあいさつを交わすことで、子どもたちの様子もわかります。

校長先生「あのね箱」の活用

鶴間小学校では、「子どもたちにとって学校は安心できる場所ではなくてはならない」との考えから、校長室前に『校長先生あのね箱』を設置しています。



つらいことや悲しいことだけでなく、楽しかったこと等、自由に書いて入れるポストです。

子どもたちは、安心して手紙を入れることができ、毎日様々な内容の手紙が入っています。

「いじめ問題対応研修」の実施



教育委員会では、夏季休業中を活用して「授業力・教育課題研修会」を実施しています。教育課題の一つとして、いじめなどの問題に対応する研修を実施しました。大学教授を講師に、いじめの解消に向けたカウンセリングの理論や、学校での実践に向けた取り組み方法を学びました。その他にも、副校長・初任者・人権教育担当等を対象に研修を行っています。

2012年6月から8月までの間に、定例会3回が開催されました。24件の議案を審議し、1件を協議し、24件の報告を受けました。以下にその主なものをお知らせします。

教育委員会の動き

6月～8月

もご覧いただけます。

【議案】

- 2012年度町田市教育委員会の施策等の点検及び評価(2011年度分)について
- 町田市立学校学校支援地域理事の任命について

【協議事項】

- 町田市生涯学習審議会への諮問について
- 教育相談の土曜開設について
- 町田市教育委員会版「柔道の安全指導の手引き」の配布について
- 鶴川中学校の通学区域について
- 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催について

人と関わることの大切さ

教育委員 vol.2 コラム

高橋 圭子 委員

みもありません。親として、一人の人間として試されています。

子育ては学校では習いません。父となり母となった時、ぶっつけ本番で始まります。さらに現在は、核家族化、地域とのつながりの希薄化などにより、孤立した中で子育てをしている親も少なくなく、厳しい現状があります。

私は2008年7月に保護者の中から公募で教育委員に選ばれました。今日まで、町田の教育のために何が出来るのかを考えながら、様々な活動をしてきました。特に、「読み聞かせ」を用いた「大人のためのお話し会」や講演会などを通し、保護者の方々にエールを送る「子育て応援活動」が私の大切な仕事だと思っています。

最近では、私たちの幼い頃には耳にしなかった「子どもへの虐待」「無差別殺人」「振り込め詐欺」「いじめ問題」などのニュースが毎日のように報

道されています。子どもたちが世の中に希望を持ちにくくなっていくと感じています。しかし、子どもたちは、そのような環境の中でも、自分たちに関わってくれる大人に数多く出会うことで、日頃のニュース等で受けるマイナスの影響が打ち消され、「あんな大人になりたい」「大人になって良い世の中にしたい」という前向きな思いに変わることが出来ると思います。私たち大人は、積極的に温かく子どもに関わっていきたいものです。

最後になりましたが、最近の「いじめ問題」の報道には、私も大変心を痛めています。日頃から親子でコミュニケーションをよく取り、「人としていじめは絶対にやってはならない」ことを伝えるとともに、保護者として、大人として、子どもたちの日頃の様子を注意深く見守ることが必要です。子どもの心を守り、命を守るの周りの大人の大きな責任だと思っております。